



せきまる作者 藤本隆志 さん

下関市メインキャラクターデザイン公募で最優秀賞を受賞した西日本工業大学デザイン学部情報デザイン学科4年生の藤本隆志さんをご紹介します。



▲校章があしらわれた下関北高校の校旗と藤本さん

昨年下関市では、下関市のメインキャラクターのデザインを公募しました。345点もの応募があり、その中から、選ばれたのが「せきまる」です。そのデザインをした藤本さんは、下関市在住の大学生です。小さいころから絵を描くことが好きで、小学生の時は、みんなが外に遊びに行っても、自由帳に絵を描いて過ごしていました。川中中学校、下関工業高校でも美術部に所属し、今でも絵を描き続けています。

絵を描くことが好きで、**デザインナーへ**
好きて
始まりは絵を描くこと

北高校の校章のデザイン公募に応募し、見事選ばれました。再編統合される響高校と豊北高校のそれぞれの校章のシルエットなどを残し、両校の伝統などをつないでほしいという願いと、生徒には地域の人々と支え合って成長して欲しいという意図を込めたデザインです。

藤本さん。大学1年生の時には、下関北高校の校章のデザイン公募に応募し、見事選ばれました。再編統合される響高校と豊北高校のそれぞれの校章のシルエットなどを残し、両校の伝統などをつないでほしいという願いと、生徒には地域の人々と支え合って成長して欲しいという意図を込めたデザインです。

藤本さんが進路を迷ったとき、高校の先生に「デザインの大学に進学する道もある」とアドバイスを受け、デザイン学部のある大学に進学しました。「大学は授業が楽しく、全部吸収するぞという気持ちで受講しています」と楽しそうに話します。

デザインの道へ





まちかどボイス

今月のテーマ
あなたのLOVEなもの



◀「鼠」
藤本さんが、動物をモチーフに描いた最初の作品。



▶絵を描くときは、中学2年生から愛用しているペンを使います。

そして大学3年生の時、下関市でメインキャラクターのデザインを公募していることを知り、ぜひ創りたいと思い、応募しました。

市外の方が見てもわかるように、特産品などを調べ、キャラクターらしい丸い形を意識し、くじらとふくのどちらにも見えるデザインを創り出しました。頭には奇兵隊の笠を、靴は唐戸市場の長靴をイメージしています。

デザイン選考では、全国からの応募作品が3点に絞り込まれ、最終的に市民投票の結果、有効票数の半数以上の得票で、藤本さんの作品は最優秀賞となりました。

表彰式で着ぐるみの「せきま」と初めて対面した藤本さんは、「せきま」がたっくさんの子どもに囲まれている様子を見て目を細めます。「これから、活躍の幅が広がっていくと思いますので、応援をよろしくお願いします」と親心があふれます。

将来の目標について「今はグラフィックデザインやキャラクターデザインをしています。椅子などの製品をデザインしたり、空間や景観をデザインしたり、何でも挑戦していろいろなことができるデザイナーになりたいです」と話してくれた藤本さん。今後の活躍が期待されます。

編集後記

■小学生の娘とタグラインへ。休日の朝をおいしいパンとコーヒーで素敵な時間が過ごせました。スタッフも爽やか。お勧めです。(き)
■食べたもので身体ができていと思うと、日々の食事を大切にしようと思いました。まずは、納豆とヨーグルトを食べます。(と)
■市報が面白かったというはがきをいただき、感激しました。これからも皆さんの心に少しでも伝わる記事を書けるように頑張ります。(ひ)